

げんき通信

麻酔のおはなし

麻酔は、手術の際に生じるストレスなどを抑制し、より安全に手術を行うための医療です。



(北茂安店薬剤師/よしどみ)

麻酔とは「薬を使って全身や局所の知覚や意識を一時的に失わせること」と定義されます。世界で初めて成功した全身麻酔による手術は江戸時代に華岡青洲によって行われた乳がん手術であることは有名です。そこから大きな進歩をとげた麻酔のおかげで、私たちは本来なら耐えられないような痛みや不安から解放されて、手術や治療を受けることができます。麻酔は全身麻酔と局所麻酔とに分けられます。

全身麻酔

全身麻酔は麻酔薬を中枢神経(脳や脊髄)に作用させて痛みを取り除くもので、意識がなくなるのが大きな特徴です。吸入麻酔(麻酔薬を吸入して肺から血液中に送り込む)と、静脈麻酔(血液中に注射することにより中枢神経に作用させる)のふたつがあります。全身麻酔では「無意識」「無痛」「不動」さまざまな反応の抑制が求められるのですが、これらの効果

を1種類の薬物で得ることは難しいため、多くの場合、複数の薬剤が用いられます。患者さんの多くは全身麻酔での手術を希望しますが、痛みを感じない状態と引き替えに、中枢神経が関与する呼吸や循環などの重要な機能も抑制してしまうことを忘れてはいけません。

そこで、これらの機能が抑制された状態でも患者さんの生命を維持してくれるのが麻酔医です。手術の間、麻酔で意識を失っていても、心臓がきちんと動くように、呼吸がおかしくならないように、血圧が下がりにくいように、モニターを介して私たちを見守り助けてくれる頼もしい存在です。



薬剤師を募集しています!

※くわしくは、県庁通り店までお気軽にお電話ください。

笑顔・明るさ・元気のくぼ薬局では現在21名の薬剤師が皆様のごところから健康づくりのお手伝いをしています。処方せん調剤・医薬品販売だけではなく、サプリメントや健康食品についてのアドバイスなど、広い分野で活躍できる薬剤師を目指しませんか?くわしくは下記までお電話ください。

県庁通り店 ☎0952-23-4550

↓HPでもどうぞ!

www.kubo-pharmacy.com/

局所麻酔

局所麻酔は麻酔薬を末梢神経(脳や脊髄から全身に広がっている神経)に作用させて刺激の伝導を遮断するもので、意識はそのまま保たれます。薬の投与部位により、脊椎麻酔、硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔に分類されます。

●脊椎麻酔:薬を脳のクモ膜下腔へ投与するもので、少量の薬で効果が得られます。

●硬膜外麻酔:同じく脳の硬膜外腔へ投与する方法ですが、どこに薬を注入するかで遮断する部位を調節できます。

●伝達麻酔:薬を神経に注射して痛みの伝達をブロックするもので、神経ブロックとも呼ばれます。痛みの緩和を目的にペインクリニックでも行われます。

●浸潤麻酔:手術部位の皮下に薬を注射します。

●表面麻酔:粘膜表面に薬を塗布・噴霧して局所を無痛にします。

局所麻酔は全身麻酔に比べて全身への影響が少なく、必要な器材も少なくすむため、頻繁に用いられます。しかし、局所麻酔で可能な手術の程度には限界があります。また、局所麻酔の利点である「意識がある状態」「不安・恐怖・緊張」などのストレスを生み、血圧上昇、頻脈、不整脈などを起こす可能性もあるので、持病のある方には注意が必要です。

処方せんはぜんぶ「くぼ薬局」におまかせください。すべての病院・医院の処方せんを受け付け責任を持って調剤いたします。

あなたのまちのくすり箱

くぼ薬局



●中町店 ☎26-2817 FAX 28-0802 ●木原店 ☎24-2233 FAX 24-4227 ●中の小路店 ☎24-2882 FAX 24-4503

●西与賀店 ☎22-2311 FAX 29-2777 ●北茂安店 ☎0942-89-1777 FAX 89-1888 ●医大通り店 ☎32-1133 FAX 21-1344

●本部:県庁通り店 ☎23-4550 FAX 26-8585